

令和3年度松阪市児童生徒科学作品展 審査講評 (小学6年生)

今年は45点の作品が出品されました。

学校で習ったことや日常生活で疑問に思ったことについて実験・観察を行い、さらに考えを深めていく作品が多くあり、大変嬉しく思いました。

第三小学校の井本さんは、身近な石や貝がらを宝石のようにできないかと考え、研究を深めました。石や貝の種類を変え、磨いていく実験を繰り返しました。石と貝の出る光沢の原理の違いに気づきました。身近な物から研究に取り組む姿が素晴らしいです。花岡小学校の恩田さんは、新型コロナウイルスの蔓延で身の周りの菌はどうなったのかについて研究を深めました。3年間に渡る研究で、今年は、手洗いや消毒液の違いによりどのくらい菌が残るかや菌の繁殖をおさえるにはどうしたらいいかを実験を通して考えました。一人ひとりが予防対策をすることの大切さが分かる研究となっていました。

これからも探究心あふれる実験を行う子どもたちが増えることを期待しています。